

回復としての終末

シリーズ～終末を生きる～

2018/1/14

「極めて良い」始まり

- ・ 神が天地を創造された時、それは完璧だった
 - － 「神はお造りになったすべてのものを御覧になつた。見よ、それは極めて良かった。」創世記1:31
- ・ 神は人に被造物の管理をゆだねられた
 - － 「神は彼らを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。』」1:28
- ・ 人間が神に背いたことにより被造物全体の調和が乱れ、破滅に向かい始めた

回復の道筋①

- ・ノア

- 神はノアと彼の息子たちを**祝福して**言われた。
「産めよ、増えよ、地に満ちよ。地のすべての獸と
空のすべての鳥は、地を這うすべてのものと海の
すべての魚と共に、あなたたちの前に恐れおのの
き、あなたたちの手にゆだねられる。」9:1-2

- ・アブラハム

- 主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷
／父の家を離れて／わたしが示す地に行きなさ
い。わたしはあなたを大いなる国民にし／あなた
を**祝福し**、あなたの名を高める／**祝福の源とな**
るようだ。」12:1-2

回復の道筋②

- ・イスラエル(民族)+律法
 - 律法によって神が求められる秩序を示された
 - 「あなたがあなたの神、主の御声に聞き従うならば、これらの**祝福**はすべてあなたに臨み、実現するであろう。」申命記28:2
- ・バビロン捕囚
 - イスラエルは律法を守れず、祝福を逃してしまう
 - しかし、主の憐みは尽きず、回復の予言が語られる

回復の予言(イザヤ)

- ・ 神の主権の回復
 - 「終わりの日に／主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち／どの峰よりも高くそびえる。」2:2
- ・ 義(正義)の回復
 - 「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし／槍を打ち直して鎌とする。國は國に向かって剣を上げず／もはや戦うことを学ばない。」イザヤ書2:4
- ・ 聖さの回復
 - 「その日には、人間の高ぶる目は低くされ／傲慢な者は卑しめられ／主はただひとり、高く上げられる。万軍の主の日が臨む／すべて誇る者と傲慢な者に／すべて高ぶる者に」2:11-12

イエス・キリストによる回復

- 目指されたのは「**神の国**」の実現
 - 「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」マルコ1:15
- 主権の回復
 - 「天におられるわたしたちの父よ、御名が崇められますように。」
- 義の回復：山上の垂訓
- 聖さの回復：宮清め
- 愛の回復：十字架

回復としての終末

- **主権の回復**
 - 「主よ、わたしたちの神よ、あなたこそ、栄光と讃れと力とを受けるにふさわしい方。あなたは万物を造られ、御心によって万物は存在し、また創造されたからです。」黙示録4:11
- **義の回復**
 - 「見よ、白い馬が現れた。それに乗っている方は、「誠実」および「真実」と呼ばれて、正義をもって裁き、また戦われる。」19:11
- **聖さの回復**
 - 「彼女がおごり高ぶって、ぜいたくに暮らしていたのと、同じだけの苦しみと悲しみを、」18:7

回復としての終末

- **主権の回復**
 - 「主よ、わたしたちの神よ、あなたこそ、栄光と讃れと力を受けるにふさわしい方。あなたは万物を造られ、御人間の高ぶり(傲慢)の報いです。」黙示録4:11
- **義の回復**
 - お金(経済)・科学
環境破壊・自然災害
病気・アレルギー
 - 「見よ、白い馬に乗っている方は、「誠実」および「正義」呼ばれて、正義をもって裁き、また戦われる。コンピュータ...
- **聖さの回復**
 - 「彼女がおごり高ぶって、ぜいたくに暮らしていたのと、同じだけの苦しみと悲しみを、」18:7

回復を目指して生きる

- 神が願っておられること
 - 創造の秩序の回復
- 神の国を“この世”に実現してゆく
 - 「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。」
マタイ6:33
 - ×“あの世”に行くまで息をひそめて耐える
- 神の主権・義・聖さ・愛の種を蒔こう!
 - そこで、イエスは言わされた。「神の国は何に似ているか。何にたとえようか。それは、からし種に似ている。人がこれを取って庭に蒔くと、成長して木になり、その枝には空の鳥が巣を作る。」ルカ13:18-19